

基盤研究総合実習

[実習] 第1学年 選択 2単位

《担当者名》全教員

【概要】

所属する研究分野以外の異なる2つの研究分野における研究手法を学ぶことにより、専門領域にとらわれない広い研究視野を修得するとともに、修得した他分野の研究手法等を専門分野の課題研究に応用する能力の修得をめざす。

【学修目標】

- 専門分野以外の異なる研究分野における研究手法を修得し、実践できる。
- 異なる研究分野における研究手法を、専門分野の課題研究に応用できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	総合実習	生物活性天然物の生物有機化学的研究手法の修得	小林 健一 平山 裕一郎
	総合実習	生理活性物質の構造解析法の修得	山田 康司 坪郷 哲
	総合実習	生体内微量成分の超高感度測定法の修得	村井 賀 佐藤 浩輔 佐々木 隆浩
	総合実習	放射性プローブを用いる分子イメージングの修得	北浦 廣剛
	総合実習	酵素活性解析法の修得	吉村 昭毅
	総合実習	遺伝子機能評価法の修得	中川 宏治 土田 史郎
	総合実習	ウイルスの遺伝子変異解析法の修得	岡崎 克則 大澤 宜明
	総合実習	食品成分の単離法と機能評価法の修得	浜上 尚也 小林 大祐
	総合実習	培養がん細胞を用いた抗腫瘍効果分析法の修得	小島 弘幸 寺崎 将
	総合実習	培養細胞を用いた薬効解析法の修得	柳川 芳毅 水野 夏実
	総合実習	電気生理学的手法による生体機能解析技術の修得	泉 剛 大橋 敦子 鹿内 浩樹 木村 真一
	総合実習	動物モデルや培養細胞を用いた病態診断・解析法の修得	飯塚 健治 町田 拓自
	総合実習	薬物の体内動態解析法の修得	小田 雅子
	総合実習	薬剤の有効性・安全性の評価法の修得	小林 道也 伊藤 邦彦
	総合実習	薬物血中濃度モニタリング技術の修得	平野 剛 吉田 栄一 中山 章 櫻田 渉 早坂 敬明
	総合実習	生薬成分の単離と分析法の修得	高上馬 希重 金 尚永
	総合実習	種々製剤の試作と評価法の修得	柴山 良彦 中川 勉

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			久保 儀忠
	総合実習	薬物療法における医薬品適正使用の修得	遠藤 泰

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習への取り組み態度（50%）及び学修目標の到達度（50%）により総合的に評価する。

【教科書】

各指導教員の指定する書籍など

【参考書】

各指導教員の指定する論文など

【学修の準備】

各指導教員の指導に依る。